

データベースのアップグレード手順

対象バージョン: SSC3.5~3.6

本手順は、SigmaSystemCenter 3.5 / 3.6で使用しているデータベースをSQL Server 2016へアップグレードする手順について記載しています。

アップグレードの対象となるのは、SQL Serverで作成されたDeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor性能監視の各インスタンスです。

本手順書では、以下のケースを対象としています。

<バージョンのアップグレード>

旧バージョンのSigmaSystemCenterで、SQL Server 2008 R2、SQL Server 2012、およびSQL Server 2014を使用されていた場合は、SigmaSystemCenterのバージョンアップが完了した後に、既存のSQL Serverインスタンスをアップグレードしてください。

アップグレード元	アップグレード先
SQL Server 2008 R2	SQL Server 2016
SQL Server 2012	SQL Server 2016
SQL Server 2014	SQL Server 2016

<エディションのアップグレード>

本手順を参照してアップグレードしてください。

アップグレード元	アップグレード先
SQL Server 2016 Express	SQL Server 2016上位エディション

1. 事前準備

アップグレードする前の SQL Server (SQL Server 2008 R2、SQL Server 2012、または SQL Server 2014) に修正プログラムや最新の Service Pack が適用されていることを確認してください。Service Pack が適用されていない状態でアップグレードを実施すると、SQL Server 2016 へのアップグレードが中断されてしまい、正しく完了することができません。

また、SQL Server 2016 Express にアップグレードする場合は、アップグレードを開始する前に.NET Framework 4.6.x (.NET Framework 4.6.x 日本語 Language Pack 含む) をインストールしてください。SQL Server 2016 上位エディションにアップグレードする場合は、.NET Framework 4.6 がインストール媒体に同梱されており、自動でインストールされるため、事前にインストールする必要はありません。

2. DeploymentManager 、 SystemProvisioning 、 SystemMonitor 性能監視のデータベースをアップグレード するには

DeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor 性能監視のデータベースのアップグレードを行います。以下の節の順番でアップグレードを実施してください。

2.1. DeploymentManager 、 SystemProvisioning 、 SystemMonitor 性 能監視のサービスの停止

以下の順番でサービスを停止してください。

- ◆ System Monitor Performance Monitoring Service
- ◆ PVMService
- ◆ DeploymentManager API Service
- ◆ DeploymentManager Backup/Restore Management
- ◆ DeploymentManager Get Client Information
- ◆ DeploymentManager PXE Management
- ◆ DeploymentManager PXE Mtftp
- ◆ DeploymentManager Remote Update Service
- ◆ DeploymentManager Schedule Management
- ◆ DeploymentManager Transfer Management

2.2. SQL Server 2016へのアップグレードインストール

DeploymentManager、SystemProvisioning、およびSystemMonitor性能監視のインスタンス名は、それぞれ「DPMDBI」(既定値) と「SSCCMDB」(既定値) です。各インスタンスをSQL Server 2016へアップグレードするには、以下に従って実施してください。

- ◆ SQL Server 2016へアップグレードするには
[https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267\(v=sql.130\).aspx](https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267(v=sql.130).aspx)
- ◆ SQL Server 2016のエディションアップグレードをするには
[https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/31d16820-d126-4c57-82cc-27701e4091bc\(v=sql.130\)](https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/31d16820-d126-4c57-82cc-27701e4091bc(v=sql.130))

注: SQL Server 2016へアップグレードインストールを実施する前に、以下を参照して注意事項を確認してください。

「3.1 SQL Server 2016を使用する場合の注意事項」

2.3. 修正プログラム、Service Pack の適用

以下のいずれかの方法で、アップグレードしたSQL Serverインスタンスに修正プログラムやService Packを適用してください。

- ◆ Windows Updateを実行し、対象のSQL Serverインスタンスに対して適用可能なすべての修正プログラムやService Packを適用します。
- ◆ SQL Serverの修正プログラムやService Packをダウンロードし、対象のインスタンスに適用します。

2.4. DeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor 性能監視のサービスの開始

本手順「2.1 DeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor性能監視のサービスの停止」で停止したサービスを開始してください。

以上でSQL Server 2016へのアップグレードは完了です。

3. 補足・注意事項

3.1. SQL Server 2016 を使用する場合の注意事項

SQL Server 2016 にアップグレードする場合、以下の点に注意してください。

- ◆ x86 アーキテクチャは、SQL Server 2016 ではサポートされていません。そのため、アップグレード元の SQL Server のアーキテクチャが x86 の場合、SQL Server 2016 へのアップグレードはできません。
- ◆ Windows Server 2008 R2 以前の OS は、SQL Server 2016 ではサポートされていません。そのため、Windows Server 2008 R2 以前の OS では SQL Server 2016 へのアップグレードはできません。

詳細については以下を参照してください。

[https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms143506\(v=sql.130\).aspx](https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms143506(v=sql.130).aspx)

作成日:2016/07/12
最終更新日:2017/05/16